

大阪府 地域本人交流会 報告

主催支部	NPO法人 認知症の人とみんなのサポートセンター	担当者	沖田 裕子
開催日時	2009年8月27日		
会場	大阪市社会福祉研修・情報センター 5階 演習室		
参加者	主催支部からの参加者 認知症の人(0)人、介護家族(0)人、支援者(4)人		
	主催支部以外からの参加者 認知症の人(4)人、介護家族(4)人、支援者(4)人		
内容	<p>日程 事前</p> <p>チラシを作成し、関西で活動している地域の家族会などに郵送、電話連絡を行った。話せる本人がいない、家族も高齢なので大阪まで行けないなどの返答があった。また独居の本人は、申込をしたが、後日不安になり当日キャンセルになった人がいた。</p> <p>当日 13:40～</p> <p>13時半には参加者全員が集まり、13時40分から全員で自己紹介、本日の趣旨、流れを沖田から説明をした。</p> <p>14:00～別室で本人交流会、家族交流会へと別れた。それぞれの交流会には、サポーターが進行役と記録役に入った。本人交流会は、本人4名、本人対応のサポーター3名、進行1名、記録1名の9名で行った。参加者の内訳は(男性・50歳代・AD)(男性・70歳代・AD)(女性40歳代・FTD)(女性60歳代・VD)である。家族交流会は、家族4名(妻1名、夫1名、娘2名)だった。</p> <p>14:50～</p> <p>トイレ、手洗いをしてお菓子、軽食を本人たちで盛り付け、お茶を配った。</p> <p>15:00～本人、家族合同で交流会を行い、感想やそれぞれで話し合った内容を報告した。</p> <p>15:30～アンケートを記入し、参加者個々人で話をした。本人のアンケート記入は一部サポーターがサポートをした。</p> <p>16:00 スタッフとサポーターの一部で反省会を行った。</p>		

本人交流会の様子・印象に残った出来事など 報告書に掲載可能な写真を付けてください。

本人交流会での話題

1. 家族に言いたいこと・・・ 父、子ども、妻、夫へのそれぞれの思いが出された。
2. 毎日、何をして過ごしているのか・・・家事、カラオケ、デイサービスなど。

デイサービスでは、「手伝うと思っても、向こうに行っというて、そこで座っというてと言われる。向こうにしたら邪魔になるのかね」「動いていいのかわからないから、座りこんでおくのがしんどい」と、デイサービスを利用している2名から話が出た。

「話してたら懐かしい。デイではできない。してあげてほしいなと思う。『アルバム持ってき

て』と言ってそれ持って来させて話をして輪ができる。自分のところで紙ちぎらせてのり貼らせておもしろくない。とデイサービスへの提案も話された。

3. 死にたいと思うと・・・「家にいたらいらんことを考える、はよ死んだろかなど」という話にそれぞれ「死にたいとは思わない」「思うね。自殺する勇気もない」「死んだらみんなに迷惑がかかる」などの意見が出た。

4. 嫌なことは忘れたらいい・・・働いていた時に、いやなことがあったという人に対して、他の本人から発言があった。

認知症によるより抑制がきかない人が、別の人容姿についてひやかすような発言があったが、その人は、おおらかに捕らえてくれていた。話題を提供したり、順番に聞く中でお互い意見を他の人に言うように会話が続いていた。

参加者の感想（認知症の人、支援者）

（本人）

- ・ 交流ができた。
- ・ 少人数で、お話しがたくさん出来て良かった。卓球を趣味にしている方がいた事はすばらしい。
- ・ これからも、たくさん交流会して下さい。
- ・ ありがとうございます。

（家族）

- ・ 道中、帰ると言っても少々手こずりました。本人当事者が、落ちついて座っていたのに驚き、言葉がきたなくなってしまう申し訳なく思います。本人を参加させる事で少しでも若年という事を肩はず、受入れて欲しいです。
- ・ 仲間との出会い。知り合いと再会してうれしい。ちょっと短い。ないものは、ない言うより、作った方がいいとまた思った。
- ・ 色々な事を知れて良かった。楽しかった。

(サポーター)

- ・ 本人の力を感じました。Bさんの「このままで終わらせたくない」の言葉が重く、Aさんの奥さんが、夫はダメではなく希望が持てると伝えられていたことも印象的でした。Aさん、優しい気遣いを色々サポートにしてくれた。ボソッと独り言のように言っておられる言葉は、集団仲間と思っているように感じた。「この人はみんな優しいなあ」「入っていいんか?」他人の会話に必ず合いの手を入れていた。
- ・ 家族間の支え合いの大切さ。
- ・ ご本人の気持ちを聞いてよかった。
- ・ ご本人の気持ちを聞いてよかった。
- ・ ご本人が、ご自分自身のことを考えると場が作られていると思えた。ご家族が、ご自身のことを言える場がつくられていると感じた。
- ・ いつもの交流会であまり話さなかった本人や家族が話をよくしていたので少人数の良さもあったのではないかと思った。しかし、年齢、疾患などは、ばらつきがあったので、本人と家族も同世代の参加があれば、また違ったのではないか。
- ・ いつもやっている、それぞれの集いとはべつに開催したので、参加人数は少なかったが、こういう機会があってもよいのではないかと思った。
- ・ 本人がデイサービスで何もしていないからできることをさせてほしいとの言葉に気付かされることが多くあった

主催支部の反省・感想・意見など

- ・ 交流会に申し込んでいた人、誘っていた人が次々に休みになり、参加人数が少なくなり、本人、家族とも初対面の人ばかりになってしまった。
- ・ 参加者は、声かけの仕方次第で増えるのかも知れないので、今後声かける所も考える必要があると思った。
- ・ 子ども世代の人たちが年齢は違っても出会えて元気になったようでよかった。

